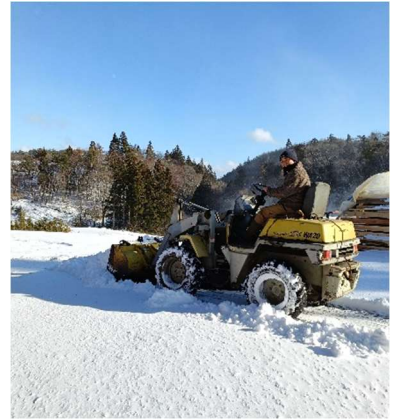


げいび清流米ご活用の皆様へ

寒中お見舞い申し上げます。

年末年始にかけて冬型が強まった影響もあって、最近では珍しく雪のある正月を送りました。東京から帰省した孫も、スマホいじりを止めて元気に雪遊びに興じていました。3連休は更に寒波に見舞われ、この冬一番の積雪（それでも25cmぐらい）を記録し、早朝から雪かきに追われました。雪は米農家にとって計り知れない恵です。近年の水不足は本当に深刻です。我が家でも山間の田んぼの一部は水不足で耕作を断念せざるを得ない状況です。平野部の田んぼですら、巨大なダムが干上がり給水制限させられる始末です。冬にしっかり雪が積もって、それが少しずつ解けて山に蓄えられなければお米を育てることはできないのです。



昨年はお米のこと（価格）が話題にならなかった日はありませんでした。買って食べる方からすれば気持ちは理解できます。私たち生産者も基本的に消費者でもあります。そこで感じるのは、生産者の苦勞が報われ、かつ消費者が納得できる落とし所を見つけるのは非常に難しい問題だと言うことと、お米作りが持続可能なものにするためには「現場の現実」がもっと広く知られるべきだと感じています。特にも私たちのような中山間地の条件不利地域はその多面的価値を理解してもらえようような更なる情報発信や、体験できる仕組みも考える必要があるかもしれません。

（記：佐藤想司）

初詣

年が明けた1月3日、地元一関市東山町の吉祥天神（菅公夫人の墓）に初詣に行きました。

境内の静かで凛とした空気の中で、旧年の感謝と新しい一年の無病息災などを祈りました。気持ちが新たになり、良い新年スタートすることができました。

実は、ここ吉祥天神は、学問の神様で知られている菅原道真公（菅公）の奥様のお墓であり、市指定史跡となっています。菅公が大宰府に左遷された際、夫人は3人の子と従臣とともに岩手県に落ち延び、死後、墓は東山町田河津に作られ、千年以上もの間、従臣菅原氏の子孫や集落の方々によって大事に守られてきました。菅公の霊を祀る太宰府天満宮とのご縁もあり、平成6年には大宰府から門外不出の梅の木3本が寄贈され、植樹されています。（記：小崎翠）



吉祥天神
（菅公夫人の墓）



大宰府天満宮から
寄贈された梅樹

※2月の発送日は20日です（毎月第三金曜日）。

直売所

（年間定期購入者割引価格）

ご希望の場合は、下記ご注文方法によりご用命ください。

- ・ えごま油（焙煎） 税込 2,300 円/140g
税込 1,100 円/65g
- ・ えごま油（生） 税込 2,600 円/140g
税込 1,200 円/65g
- ・ 桑茶（粉末タイプ） 税込 500 円/30g（約50杯分）

ご注文方法

郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上、ご注文下さい。右記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。

※ お米と一緒にお届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。

お問い合わせ先

〒029-0301
岩手県一関市東山町
田河津字田ノ萱 58 番地
フリーダイヤル：0120-81-4153
FAX：0191-47-2769
Eメール：okome@81-4153.com
ホームページ：<https://81-4153.com>

合同会社 田舎モノ
代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が応対します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡致します。



LINE はこちら